

「京都フェニックス・パーク地域企業防災DCPモデル開発研究会」が  
6月24日に立ち上がります。

平成22年6月22日

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 災害リスクマネジメント分野 教授 岡田 憲夫 (京都大学防災研究所長) 准教授 横松 宗太 電話 0774-38-4279
------------------------------------------------------------------------------------------------

## 第一回設立会議

- 1 日 時：平成22年6月24日（木）15時00分～17時00分
- 2 開催場所：京都大学防災研究所（宇治市五ヶ庄）5階 D1518大会議室
- 3 参加者：〔産〕 京都フェニックス・パークに立地する企業 約30社  
(当日の設立会議出席は6社)  
〔学〕 京都大学防災研究所 岡田所長、横松准教授 他  
〔公〕 京都府 危機管理・防災課、企業立地推進課  
宇治市 危機管理課、産業振興課  
久御山町 総務課、産業課
- 4 会議概要：(1) 設立趣旨と経緯の説明（京大防災研 岡田所長）  
(2) 意見交換等  
(3) 講演  
① 「JOHNAN(株)の事業継続計画について」（先行取組企業による事例発表）  
② 「組織の危機管理について」（講師：牧 紀男 京大防災研 准教授）
- 5 趣 旨：  
本研究会は、京都大学防災研究所の研究チームと京都フェニックス・パークにある地元企業や、行政がパートナーシップを組んだ新しいタイプの研究協力モデルづくりを目指すものです。研究会では、災害時を想定した企業の事業継続計画（BCP）などの先進事例について共同で学ぶとともに、当該企業のBCPづくりと、それを企業団地等の地域レベルに格上げしたDCP（地域企業防災）モデルを、参加者が知恵と力を合わせて開発するための議論と研究の場づくりを目指します。また、研究成果を社会へ還元することを目的とします。本研究会は、京都大学防災研究所が音頭をとり、場づくりと、防災に関わる専門的な観点から触媒役を務めるものです。これに、地元にある京都フェニックス・パークにあるいくつかの地元企業（先導役は既にBCPづくりを始めているJOHNAN(株)）と、京都フェニックス・パークの中に設立される防災連絡会が参画するとともに、地元公共団体である京都府や宇治市、久御山町が行政的支援の立場から加わって、まさに産学公の三者の協働で開発研究を目指すものです。なお研究会の主査は、京都大学防災研究所長・教授 岡田憲夫氏が務めることになっています。

# < 京都大学宇治キャンパス 開催場所 >



京都大学 宇治キャンパス  
防災研究所 建物配置図

- 1 総合研究棟(E棟、S棟)
- 2 境界層風洞実験室
- 3 風洞実験室
- 4 地震予知研究センター
- 5 巨大災害研究センター
- 6 強震応答・耐震構造実験室
- 7 鋼構造実大試験架橋
- 8 強震動観測実験場
- 9 自動車車庫
- 10 人為地震発生装置室
- 11 遠心載荷実験室
- 12 斜面災害研究センター  
UNITWIN本部棟
- 13 工作室
- 14 おみやげプラザ(ぎはだホール)

